

校長室だより第 50 号（令和 8 年 3 月 17 日）

『卒業式の予行』と『引継ぎ式』と『お別れ式』のこと

卒業式の予行練習が先週行われました。卒業生は練習を積み重ねてきたこともあり、立派な態度で予行に臨んでいました。とにかく呼名された後の『はい』という返事がすばらしい。証書を渡す練習をしながら、「次の子はどんな返事をしてくれるのだろう。」とわくわくしていました。10年以上壇上に立つ役をしていますが、わくわくしたのは初めてのことです。それだけ、卒業生の返事がすばらしいということです。卒業式当日はさらに素敵な返事、歌声が聞けることになるでしょう。とても楽しみです。

小倉小学校は、卒業式当日、在校生（4年生5年生）は出席しません。代わりに予行を見学します。卒業式の当事者でない場合、予行に参加するための心構えができていないので、1時間以上よい姿勢で椅子に座っていることは大変だろうなと思っていました。しかし、よい意味で裏切られました。姿勢を崩さず、卒業生の返事や呼びかけ、そして歌を聞くことができました。卒業生が生み出す緊張感が、在校生にそうさせたのかもしれませんが。大変立派な態度が嬉しかったです。

予行終了後、休憩を挟んで引継ぎ式を行いました。『引継ぎ式』では、卒業生代表の言葉とともに、校旗が在校生代表に手渡されました。緊張感があるとてもよいシーンでした。

「4月になれば4年生は5年生に、5年生は6年生に誰でもなることができます。でも、校長先生は中身が大事だと思います。高学年として頑張るとか、小倉小のリーダーとして活躍するとか、卒業生のような6年生になりたいとか、心で感じたり、思ったりすることが君たちの成長につながると考えるからです。今日の態度はすばらしいです。来年のリーダーとして期待しています。」という話をしました。

3月17日には1～3年生が6年生とお別れする『お別れ式』が行われました。3年生の司会や、2年生の始めの言葉、終わりの言葉がすばらしかったです。1年生の代表は、6年生

に胸花をプレゼントしました。そして、みんなで歌った『ありがとう 6年生』を聴いていて
思わず涙がこぼれそうになりました。6年生にも、1～3年生の思いが届いたことでしょう。

明日は卒業式。きっと素敵な式になることでしょう。